

ひたちなか市議会だより

みんなが
交通ルールを
守りましょう！

もくじ

No. 107

令和元年10月25日

- 審議案件の紹介…………… 2
- 一般質問 …………… 2
- 人事、請願・陳情 …………… 5
- 決算委員会審査報告ほか… 6
- 特別委員会調査報告ほか… 7
- 市民のこえほか …………… 8

9月定例会で

次の案件が提出されました。

● 会期：8月29日～9月26日

今回の審議件数は

- 議案：48件（原案可決・認定48件）
- 諮問：3件（同意3件）
- 請願：1件（5ページを参照）
- 陳情：3件（5ページを参照）
- 計：55件

今号ではこの中から3つを左に掲載します。

○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第82号〉 令和元年度ひたちなか市一般会計補正予算(第2号)

訪問看護事業所が実施する医療機器や訪問用自動車の購入などの在宅医療サービスの基盤整備事業に対する補助金を新たに措置します。

〈議案第84号〉 令和元年度水戸・勝田都市計画ひたちなか市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

高場流域の浸水を解消するための調整池整備に係る用地測量と公共下水道全体計画区域内の内水による浸水情報や避難方法などに関する情報を、わかりやすく事前提供する内水ハザードマップの作成を委託します。

〈議案第102号〉 平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校建設校舎棟建築工事請負契約の締結

令和3年度開校予定の統合校校舎棟について、一般競争入札により契約を締結します。また、機械設備工事、電気設備工事および屋内運動場棟の建築工事に関する各議案についても契約を締結し、整備を進めます。

一 般 質 問

市の事業などについて、
執行状況または将来の方針、
課題などを議員が直接質問しました。



市ホームページで議会録画像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



質問者



- ① 宇田 貴子 議員
- ② 山形由美子 議員
- ③ 樋之口英嗣 議員
- ④ 加藤 恭子 議員
- ⑤ 井坂 章 議員
- ⑥ 鈴木 道生 議員
- ⑦ 清水 健司 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。



読み聞かせの様子（東石川保育所）

● 待機児童解消と 保険料軽減を求める

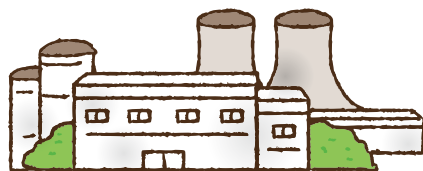
問 働く保護者が直面している問題は、育休が明けても子どもをなかなか保育園に預けられない、預けられても保育料が他市と比べて高いということである。市として、どう取り組むのか伺う。

福祉部長 低年齢児の保育需要に対応するため0歳から2歳までの保育を行う小規模保育所開設に向け、高野幼稚園の閉園後に改修工事をし、令和2年度早期の開設を目指したい。また老朽化が著しい東石川保育所の改築により、0歳児保育の充実や定員拡大を図ることも検討していく。今後、保育料の軽減を行う他市町村の動向を見極めながら、本市の保育料についても慎重に検討していきたい。

● 「実効性ある 避難計画」より 廃炉を迫れ

問 市は16万全市民を県内外24の自治体に受け入れてもらうことを前提に避難計画を策定中だが、自然災害とは異なる原発災害は「避難計画」より再稼働させないことが第一だと考えるがいかがか。

市長 広域避難計画は、国の防災基本計画、原子力災害対策指針などにおいて、原発から30キロ圏内の市町村が策定することとされており、再稼働の有無に関わらず策定する責務があると認識している。再度言うが、再稼働については、市民の安全・生活を最優先に極めて慎重に判断すべき問題であり、実効性のある避難計画を含め、市民の安全が確保されない限り再稼働はできないものと認識している。



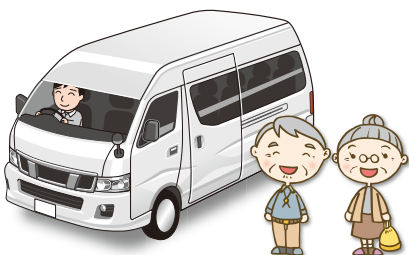
● デマンド型乗合い タクシーの実施を

問 「運転免許証を返納したら外出が困難になった」という声が多い。外出できなくなると生活の質の低下・意欲の低下や病気の悪化などに繋がる。元氣な高齢者を増やすことは市の課題。早急な実施を。

● 原発の再稼働は 認めないと表明を

問 今年6月に東海第二原発の真下で地震が発生した。地震国日本で原発の稼働は危険である。市民の「命と暮らし」を守るために、市長は東海第二の再稼働は認めないと早急に表明すべきである。

市長 本市としては、引き続き「原子力所在地域首長懇談会」の構成自治体と連携を図りながら、新安全協定に基づいた6市村での協議を通じ、適正な対応を図ってきたい。再稼働問題については、市民の安全・生活を最優先に極めて慎重に判断すべき問題であり、実効性のある避難計画を含め、市民の安全が確保できない限り再稼働はできないものと認識している。



● プレミアム商品券 について

問 プレミアム商品券は市内の登録業者での使用が可能である。補助金の目的上、他の市町村での使用は、大きな壁があるのは十分承知だが、使用する市民目線で考えると隣接市町村での使用の可能性も追求してはいかがか。

経済環境部長 事業主体である商工会議所の見解としては、本市からの補助金を活用し、市内消費喚起および商業を活性化させることを目的に実施している事業であることから、適切ではないと考えている。本市としても、他市町村の事業者においての利用については、商工会議所の見解と同様の考えである。



プレミアム商品券の見本

◀ 次ページに続く

③ 樋之口 英嗣 議員

●市発行刊行物などの製本における標準化について

問 市の発行する刊行物は、表紙のカラーリングも含め標準化がされていない。新図書館の建設も間近に迫っており、背表紙を見ただけで内容と年度がわかるように、刊行物の標準化などできないか。

総務部長 市全体で規格を統一する取り組みが十分でなかったこと

もあり、書棚に収納した際などに、ひと目で検索しにくい状況もある。近年は、多様な人々に配慮したユニバーサルデザイン【※】の視点からの情報提供が求められる時代となっている。市発行の刊行物についても製本における標準化はもとより、これまで以上に読み手に配慮した発行に努めていきたいと考えている。

用語解説

※ユニバーサルデザイン

(Universal Design/UD)

文化・言語・国籍や年齢・性別などの違い、障がいの有無や能力差などを問わずに利用できることを目指した建築（設備）・製品・情報など（デザイン）の工夫。

④ 加藤 恭子 議員

●風しんの追加対策の周知徹底を



問 今年も風しんの流行が止まらない。対策として40〜47歳の男性に抗体検査や予防接種が無料で受けられるクーポン券が配布されているが、利用が伸びていない。周知徹底の取り組みは。

福祉部長 現在は対象者への個別通知のほか、市報・ホームページへの掲載や医療機関におけるポスター掲示などを行っている。

また、市の特定健康診査会場などにおいて対象者に予防接種の必要性を個別に説明するとともに、クーポン券がなくてもその場で抗体検査が受けられるよう配慮している。今後さまざまな機会を利用し感染予防の重要性を周知していく。

●疾患のある児童を預かる場合の対応は

問 近年、一般の保育所にも慢性疾患などを抱える児童が多く見られる。健康問題を抱える児童を預かる上では、人員配置や知識の不足、リスクの管理など、課題も大きい。本市の対応は。

福祉部長 疾患のある児童を預かる場合、保育士が病院の受診状況とともに、送迎時に保護者からの連絡を受けるなど、病状の把握に努めている。また、その情報を複数の保育士で共有するほか、補助職員の配置や職員研修の実施など安全な保育に努めている。今後も引き続き、児童一人一人の状況に応じたきめ細やかな支援を意識しながら疾患のある児童の保育に努めていく。



⑤ 井坂 章 議員

●障がい者支援について



問 視覚障がいをもつ車椅子の方がタクシーを利用する際、乗車を「拒否」されることがあるなど、移動の自由が理解されていない。周知について伺う。

福祉部長 市では、買い物や余暇活動など社会参加のための外出を支援する移動支援事業や、障がいなどの理由で公共交通機関を一人で利用することが困難な方を対象に日常的な外出を支援するNPO法人や社会福祉法人が行う事業について市の施策と併せて周知に努めている。今後は福祉サービスの周知だけでなく、タクシーやバスなどの事業所にも啓発を行い、障がい者の移動の自由が制限されることのないよう、障がい者理解促進に努めていく。

●農業政策について

問 本市農家から干し芋の原料を大量に買い付け、市外で加工販売する動きは本市のブランド化を脅かすものではないか、考えを伺う。また、イノシシが農作物を荒らすことについて、現状と対策を伺う。

経済環境部長 本市は、日本一の生産量を誇る干し芋の産地として、更なる発展がなされるよう支援を行い、干し芋の需要を高めることが市外企業からの原料芋の買い付けに対する対応策と考える。また、イノシシによる農業被害の対策として、捕獲わなを設置し今年度6頭を捕獲している。今後も地元猟友会および近隣市町村との連携を図りながら、引き続きイノシシ被害の対策に取り組んでいく。



干し芋品評会の様子
(ファッションクルーズ)

●車が無くても移動する方法を

問 車が無いと近隣での買い物や通院に困り住み慣れた地域での生活を維持するのが大変であるとの声を聞く。まずは、近隣目的地への移動について現在の移動手段以外のものを補完できないか。



社会福祉法人車による買い物支援

企画部長 本年7月より、社会福祉法人による送迎用のワゴン車を活用した日常的な買い物や通院などの支援が開始され、現在は1事業者により週2回の運行だが、秋以降には、他の2事業者も同様のサービスを開始する予定である。さらに、スマイルあおぞらバスを補完する新たな取り組みとして、高齢者などを対象とする買物支援や、乗合いタクシーなどについて検討していく。

●雨水幹線整備などの取り組み状況について

問 豪雨から市民を守る緊急治水計画に基づく雨水幹線整備や河川改修などの早急な事業推進を求める。また100ミリ安心プラン【※】は未だ登録に至らない状況であるが、緊急治水計画の取り組み状況などを伺う。



●新中央図書館の候補地について

問 老朽化した中央図書館の建て替えの候補地案が示されたが選定はいつ頃されるか。また、選定基準として誰もが気軽に利用しやすい施設として勝田駅から徒歩で行けることが重要と考えるがいかがか。

教育次長 中央図書館の整備地選定について、庁内の部長クラスで構成した「新中央図書館整備検討委員会」で引き続き比較検討を行い、効果や課題を整理した上で、年度内をめどに総合的に判断していく。整備地の選定基準としては、駅からの移動が可能な中心市街地で、市内各所から安全・便利に來訪でき、一定規模の駐車場を確保できることが望ましいと考えている。



橋上化が予定される JR 佐和駅舎

●佐和駅周辺地域の整備推進について

問 佐和駅周辺地区を総合的に整備する事業として、本年度から5力年を計画期間とする「佐和駅周辺地区都市再生整備計画」が始まった。今後どのような整備が進められていくのかを伺う。

都市整備部長 東口の交通広場内に雨よけシェルター、公衆トイレを設置し、隣接地には自転車駐車場を整備、また高場荘から北側に延伸した道路を新たに整備する。西口にも雨よけシェルターの増設、公共交通と一般車を区分した送迎用の乗降スペースを設置、自転車駐車場は舗装し駐車を増設するなど利便性を高めた環境整備を行い、交通結節点の機能強化を図っていく。さらに西口駅前広場に通じる歩道の改良にも取り組む。

用語解説

※100ミリ安心プラン

短時間の局地的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）に対し、住民（団体）や民間企業などの参画のもと、行政機関が住宅地や市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取り組みを定めた計画のこと。

請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

審議未了となったもの

- ▽東海第二原発再稼働反対の決議を求めることについて
- ▽東海第二原子力発電所の運転 20 年延長・再稼働に関することについて
- ▽「東海第二原子力発電所の 20 年延長運転を認めない」意見書の提出を求めることについて
- ▽東海第二原子力発電所の運転 20 年延長・再稼働に関することについて
(総務生活委員会)

人事

人権擁護委員の候補者推薦同意

人権擁護委員の候補者に、日向野 富司男氏、武子 みち子氏、荒木 幹枝氏を推薦することに同意しました。

討論

debate

9月定例会の議案について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

議案に対する討論

● 反対

平成30年度一般会計決算について、それぞれの分野で予算額と決算額にかい離があり、もっと積極的な予算執行に取り組むべきである。財政調整基金などの残高が多いため、住民要求実現の財源として活用することを求める。

歳出では、市報ひたちなかは全世帯を対象に配布されるべきである。勝田高校敷地・関連用地代を毎年支払っているが、地方財政法に反しており、早急な解決を求める。増え続ける高齢者が安心して暮らせるように、一人暮らし・愛の定期便」や緊急通報システムなどの利用者拡大や要件緩和に早急に取り組むことを求める。那珂川沿岸地区国営土地改良事業は、水の供給後は利用者に大きな負担を

求められるため、積み立てている基金を利用し、支援策を検討すべきと考える。茨城港常陸那珂港区建設は、先の見通しもなく、今後さらに本市の負担が求められる事業であり中止すべきである。学校教育充実のために、少人数学級の実現、司書教諭補助員、学校介助員の増員を求める。

国民健康保険事業特別会計決算について、国や県の負担金が無ければ成り立たない事業であり、国庫支出金の大幅引き上げを強く求めるべきであることから反対する。

後期高齢者医療事業特別会計決算について、社会に貢献してきた高齢者を年齢で差別し、お金のない人は切り捨て、かかれる医療の範囲も制限するという制度は廃止すべきである。

介護保険事業特別会計決算について、保険料の滞納のあるなしに関わらず、必要な人はサービスを

受けられる制度にすべきである。

ひたちなか市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について、個人情報保護を危険にさらすマイナンバー制度を活用することを定める条例改正であるため反対する。

平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区統合校建設各請負契約4議案（第102号第105号）について、教育効果の見えないことや現存の小・中学校の廃校は定住促進にマイナスと考えるため小中一貫校の建設には反対の立場であり、これら議案に反対する。

公有水面埋立てに関する意見（議案第110号）について、常陸那珂港区のこれ以上の開発を中止し、中小企業の振興や福祉・教育の充実に予算を振り向けるべきと考えるため反対する。

以上、反対討論とする。

決算委員会審査報告

平成30年度一般会計・特別会計決算認定など18件の議案を決算委員会に付託し、9月17日から3日間にわたり、慎重に審査を行いました。

本会議最終日に委員長が意見を付けて審査報告をし、採決の結果可決および認定しました。

⑦市税については、市民負担の公平性と自主財源の確保という観点から、現年度分の徴収を徹底するとともに、滞納繰越分についても滞納者の実態を十分把握しながら、収納率の向上と収入未済額および不納欠損額の縮減に引き続き努められたい。

⑧人件費について、職員の働き方改革や生産性向上の推進により、長時間残業の縮減や働きやすい職場環境の確保に努められたい。

④自主財源確保の推進のため、企業誘致の促進、産業支援策および観光の振興などに引き続き取り組まれたい。

⑨社会保障関連経費、防災・減災対策費、小中一貫校建設費、公共施設の老朽化に伴う維持補修費等多額の財政支出が見込まれる。将来を見据えた投資により限られた財源で最大の効果が得られるよう効果的、効果的に事業を実施し、引き続き行財政改革の推進と財政の健全化に取り組まれたい。

⑤負担金、補助金、交付金および委託料について、対象団体の事業内容や活動状況を精査するとともに、重複や効果についての検証を行い、効率的な支出となるよう指導・監督に努められたい。

⑩国保会計および後期高齢者医療会計について、滞納者の生活状況などに即した、きめ細やかな対応に配慮されたい。

また、引き続き各種啓発やジェネリック医薬品利用差額通知などにより、被保険者の健康保持、医療費の適正化および保険給付費の削減に努められたい。



防災・減災対策 調査特別委員会 調査報告

(1) 自然災害（地震、津波、高潮、ゲリラ豪雨など）に関する事 について

東日本大震災のような巨大地震、それに伴う津波災害、近年温暖化が一因とみられる巨大化する台風に伴う高潮災害やゲリラ豪雨災害などから、市民をどう守っていくのかという視点から、木造住宅の耐震化支援制度の創設や家具の転倒・落下防止のための広報と家具固定器具の設置に対する補助制度、強度不足などによるブロック塀の改修、撤去費などについて補助制度の創設を求めます。

また、沿岸部の自治体で整備が進んでいる津波避難タワーの建設や沿岸部にある高層の建物を津波避難タワーに指定するなど、本市でも高台までの避難が間に合わない場合に備えたこれらの整備が必要であると考えます。

今後もゲリラ豪雨が多発することが予想されるため、「豪雨から市民を守る緊急治水計画」の着実な執行と早期事業完了に万全を期されたい。また、同時に排水路やグリーチングの定期的な清掃を実施することも冠水被害の低減に有

効であると考えます。

(2) 防災・減災対策の強化に関する ことについて

総合防災訓練について、自主防災組織、消防団、職員などそれぞれの役割、行動を再確認し、災害時に迅速かつ円滑に対応できるように引き続き取り組んでいく必要がある。さらに、国営ひたち海浜公園をはじめ市内観光地を訪れる観光客の避難、誘導についても具体的な避難訓練を実施することが必要である。同時に、外国人観光客の避難、誘導についても防災無線の多言語化や具体的な訓練などを実施する必要があると考えます。また、要配慮者・避難行動要支援者についての手厚い取り組みが期待されると同時に、総合防災訓練において、具体的な避難方法や手段、避難経路などについて実践的な取り組みが必要である。また、市で作成している各種ハザードマップを誰もが使用できるようユニバーサルデザイン化の推進を図られたい。さらに災害時の拠点として、防災機能を充実させた市役所庁舎の建て替えについて検討が必要なの時期に来ていると考えます。

市町村が策定することになった。東海第二原子力発電所から30kmの圏内には、本市人口を含め約94万人が生活をしており、これらの方々を速やかに避難させる困難さは他の原発立地地域とは格段に違う。さらに、複合災害なども想定すると計画の策定には大きな困難があるものと認識している。本委員会においても、多くの時間をかけ広域的避難計画について議論を重ねてきた。

(3) 原子力災害時における広域的避難計画に関する事 について

現在、集中豪雨による浸水被害対策のため、「豪雨から市民を守る緊急治水計画」が策定され、雨水幹線整備が加速している。今後は、河川、下水道などの関係行政機関と住民や民間企業などが参画した「100ミリ安心プラン」計画の早期登録に期待したい。また、本委員会ですら原子力災害時における広域的避難計画に関することについて、重点的に調査してきたところである。今後、「ひたちなか市広域避難計画」策定過程において、これまでの委員会などの意見が尊重され、同計画に反映されるよう期待する。

住民への正確な情報提供について、平時から原子力災害が発生した場合にとるべき行動や原子力に対する正確な知識の習得が必要であると考える。また、市外にいるひたちなか市民への情報提供、観光客への避難情報および外国人などの一時滞在者に対する多言語による情報提供の強化について検討されたい。また、市独自に全市民を対象に安定ヨウ素剤の事前配布を行っており、配布率の向上に努めるとともに、緊急配布用に分散備蓄している安定ヨウ素剤について備蓄先を増やすよう期待したい。

現在、集中豪雨による浸水被害対策のため、「豪雨から市民を守る緊急治水計画」が策定され、雨水幹線整備が加速している。今後は、河川、下水道などの関係行政機関と住民や民間企業などが参画した「100ミリ安心プラン」計

行政調査報告

議会広報委員会

議会広報委員会は、7月25～26日の日程で、愛知県尾張旭市、瀬戸市を訪問しました。
尾張旭市では、市民ボランティアの音訳グループによる「声の市議会だより」が毎号作成されるとともに、市内の団体や自治会と共通テーマを設けて「議会と市民の意見交換会」などを行っています。これらの多様な広報広聴活動について調査しました。
瀬戸市では、地元のケーブルテレビとコミュニティFMなどによる広報や、「市民と議会の合同研修」を行ったり、市民との意見交換会を起点とした政策サイクル確立を図ったりしています。これらを全議員によって推進している広報広聴活動について調査しました。



瀬戸市調査の様子



閉会中の常任委員会活動

総務生活委員会

○8月6日
東海第二発電所の状況などについて、市民債について、執行部より説明を受け質疑を行いました。



市民のこえ

hitachinaka

ダンスパレードに

参加しています

田彦

安島 眞弓さん

5年前から、ひたちなか祭りのダンスパレードに参加しています。練習を重ね、色々な人の協力で準備し当日を迎えます。今年は、海賊をテーマに踊り、仮装の部で銀賞をいただき大盛り上がりで終わりました。

縁あって知り合った地域の人々とチームを作り、始まったことですが、わが子の故郷となるこの地で、その縁を大事に今後も参加していきます。来年は一緒に踊りませんか。



公園から広い世界を

外野二丁目

清水 恵理さん

子育てをしている中で社会からの孤立を感じる時があります。広い世界のはずなのに自分と我が子だけの世界に取り残されてしまった寂寥感。それを払拭させてくれるのが公園です。親子連れだけでなく、老若男女が集える環境の整った公園がたくさんあると、親子共々世界が広がると感じています。子供の未来には広い世界が待っていることを日々の遊びを通して見せてあげられたらと思います。



次回12月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
			請願・陳情 締切り 正午	定例会告示 議会運営委員会		
12/1	2	3	4	5	6	7
				本会議 (開会)	(議案調査)	
8	9	10	11	12	13	14
	(議案調査)	(議案調査)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案調査)	本会議 (予備日)	
15	16	17	18	19	20	21
	予算委員会	3常任委員会	(事務整理)	本会議 (閉会)		
22	23	24	25	26	27	28

議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください(273-0111内線4211)。
なお、本会議の開始時間は、午前10時です(日程が変更になる場合もあります)。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



編集
手帳

早いもので、今年も残り2カ月余りとなりました。年頭に立てた目標に対する達成度を確認し、ラストスパートをかけた方もいらっしゃるかもしれません。私たち、議会広報委員会も議会だよりや議会ホームページについて検討課題を挙げ、この2年間改善に向けて取り組んで参りました。当委員会の任期は終わりますが、今後も議会だよりやホームページからの議会の情報に関心をお持ちいただければ幸いです。……………(加藤 恭子 記)